

# 大分県『国鉄闘争に連帯する会』会則

( 2 0 0 2 . 1 0 . 5 改稿版 )

## 第 1 章 名称

第 1 条 この会の名称を、大分県『国鉄闘争に連帯する会』とする。

## 第 2 章 目的

第 2 条 1 9 8 7 年 4 月、公企体の国鉄が法律によって分割・民営化され、組合所属による不当労働行為（採用差別）が行われた。1 9 9 0 年 4 月、清算事業団から解雇された 1 0 4 7 名の大半を占める国労組合員は、闘争団を結成し、「解雇撤回・ＪＲ復帰」を求めてきた。この闘争団が望む国鉄闘争の解決にむけた闘いを支援することを目的とする。

## 第 3 章 活動

第 3 条 第 2 条の目的達成のため、次のことを行う。

( 1 ) 国鉄闘争を大分県内に広める。

( 2 ) 中央組織としての「 1 , 0 4 7 名の不当解雇撤回、国鉄闘争に勝利する共闘会議」( 略称：国鉄闘争共闘会議 ) と連携し、全国連帯としての支援体制を整える。

( 3 ) 会報を定期的に発行し、闘いの現状を報告する。

( 4 ) 闘争団がすすめる国鉄闘争のための財政的な支援をする。

## 第 4 章 組織

第 4 条 この会は、思想信条にとらわれず、前条の趣旨に賛同する個人ををもって組織する。

## 第 5 章 機関

第 5 条 この会に次の機関を設ける。

( 1 ) 総会

( 2 ) 世話人会

第 6 条 総会は、この会の意志決定機関であって、次の機能を持つ。

( 1 ) 会則の決定及び変更

( 2 ) 世話人の選出承認

( 3 ) 事業の決定及び承認

( 4 ) 予算の審議決定並びに決算の承認

( 5 ) その他必要な事項の審議決定

第 7 条 総会は、会員で構成し、年一回開く。ただし、必要に応じて臨時総会を開くことができる。

第 8 条 世話人会は、役員（世話人）で構成し、必要に応じてその都度開くことができる。ただし、その他関係者を加えて行えるものとする。

## 第 6 章 役員（世話人）

第 9 条 この会に次の役員（世話人）を置き総会で決定する。

代表世話人	若干名
世話人	若干名
事務局長	1 名
事務局次長	2 名
オルグ	1 名

第 10 条 代表世話人はこの会を代表する。

第 11 条 世話人は、大分県内の各地区で組織される「国鉄闘争に連帯する会」、共闘組織、各市民運動等の関係者とする。

第 12 条 事務局長・事務局次長は、会員全員の互選によって選任し、この会の運営に関することにあたる。なお、事務局次長の一名は、会計を兼ねる。

第 13 条 オルグは、闘争団員とする。当面、赤峰正俊闘争団員とする。なお、このオルグは、事務局長・事務局次長とともに、この会の運営にあたる。

第 14 条 会計監査は、財政の使途について定期的に監査を受け、会員に報告する。

第 15 条 この会の世話人の任期は 1 年とする。ただし再任は妨げない。

## 第 7 章 事務局

第 16 条 この会の事務局は、当分の間、事務局長宅内に置く。

## 第 8 章 会費

第 17 条 この会に、一般会員・特別会員・団体会員を置き、会費を拠出する。

第 18 条 会費は、この会の活動費にあてる。

第 19 条 それぞれの会費は、次のとおりとする。

( 1 ) 一般会員の会費は、1 年分、3 , 6 0 0 円とする。

( 2 ) 団体会員の会費は、1 年分で年 1 口、1 0 , 0 0 0 円とする。

( 3 ) 会計年度は、4 月 1 日より、翌年の 3 月 3 1 日までとする。

( 拠出金 )

第 20 条 会費より、国鉄闘争共闘会議に、団体会員として 1 0 口 ( 1 2 万円 ) を全国連帯の闘いのために、拠出する。

( 2 ) なお、その拠出口数は、会員が 2 0 0 人以内は、1 0 口とし、会員が 2 0 0 人から 3 0 0 人までは 1 5 口とする。また、会員が 3 0 0 人以上の時は、総会で決定する。

( 国鉄闘争基金 )

第 21 条 この会のオルグの活動費及び全国連帯の活動の補助として、国鉄闘争基金を設け、これにあてる。このために、物販及びカンパ等をおこなう。

( 2 ) 会計年度は、4 月 1 日より、翌年の 3 月 3 1 日までとする。

## 第七章 附則

第 22 条 この会は、再建 ( 1 9 9 4 年 4 月 ) されてから紆余曲折を繰り返し、今日までを迎えている。ここにいたる経過を総括すると同時に尊重し、国鉄闘争の本質と目的を明らかに闘いの前進をはかることとする。

第 23 条 この会則は、2 0 0 2 年 1 0 月 5 日から施行する。